

SONY®

デジタルペーパー

画面の外部出力機能

設定手順書(ver1.1)

目次

1. はじめに	3
2. Windowsで画面の外部出力機能を利用する	4
2-1. Java実行環境の確認とインストール	4
2-2. デジタルペーパーの設定	4
2-3. デジタルペーパーとコンピューターの接続	5
2-4. ソフトウェアのダウンロード	5
2-5. ドライバーのインストール(Windows7、8、8.1)	5
2-6. ドライバーのインストール(Windows10)	9
2-7. ソフトウェアの起動と終了	12
2-7-1. DP Display Outputの起動	12
2-7-2. DP Display Outputの終了	13
3. Macで画面の外部出力機能を利用する	14
3-1. Java実行環境の確認とインストール	14
3-2. デジタルペーパーの設定	14
3-3. デジタルペーパーとコンピューターの接続	14
3-4. ソフトウェアのダウンロード	16
3-5. ソフトウェアの起動と終了	17
3-5-1. DP Display Outputの起動	17
3-5-2. DP Display Outputの終了	19

1. はじめに

画面の外部出力機能を利用すると、デジタルペーパーの画面をコンピューターのディスプレイ上に表示できます。

特長

- コンピューター経由でプロジェクターに表示することにより、複数の人が同時に閲覧することができます。
- デジタルペーパーのPDFファイルは、コンピューターのディスプレイ上にカラーで表示することができます。
- デジタルペーパーで書いた手書きは、ディスプレイ上で、紺と赤で表示されます。
- コンピューターから充電をしながらデジタルペーパーの操作ができるようになります。

ご注意

- 本書に掲載されている画面やイラストは実際の製品と異なることがあります。
- デジタルペーパーの各種機能の説明や操作方法は本体の「取扱い説明書」をご覧ください。

動作環境について

コンピューターの動作環境は、デジタルペーパーの製品ページでご案内していますのでご確認ください。

<http://www.sony.jp/digital-paper/>

商標について

- Windows® の正式名称はMicrosoft® Windows® Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows 7 Professional、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 は、米国Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、Mac OSは、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- 本マニュアルでは下記のように省略して記載しています。ご了承ください。
Windows® 7 Professional は、Windows 7。
- MacまたはMac OS®は、Mac。
- 「Java」およびすべてのJava関連の商標およびロゴは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

2. Windowsで画面の外部出力機能を利用する

画面の外部出力機能を利用するには、デジタルペーパーのドライバーをコンピューターにインストールし、専用ソフトウェア“DP Display Output”をコンピューターに保存し、起動します。

ご注意

- Windowsの設定を変更するには、管理者権限のあるアカウントでログインしてください。

2-1. Java実行環境の確認とインストール

“DP Display Output”を利用するには、Java実行環境(Java Runtime Environment、以降、本マニュアルではJREと表記します)をコンピューターにインストールする必要があります。JREのバージョン確認とインストールについては、Javaの開発元である日本オラクル株式会社のホームページ等をご参照ください。

ご注意

- 画面の外部出力機能を利用するには、JREのバージョンは、バージョン8 Update 25以降が必要です。

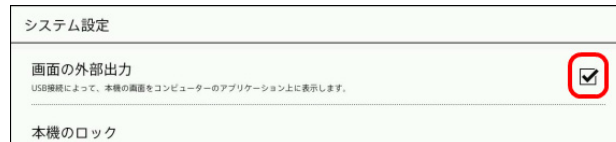
2-2. デジタルペーパーの設定

コンピューターにドライバーをインストールする前に、デジタルペーパーで、画面の外部出力機能をオンにする必要があります。

- デジタルペーパーの[設定]から[システム設定]をタップします。



2 [画面の外部出力]のチェックボックスをオンにします。



ご注意

デジタルペーパーソリューションをご利用のデジタルペーパーで、[画面の外部出力]の項目がグレー表示で設定変更ができない場合は、[管理者による制限]が設定されている状態です。詳しくはデジタルペーパーの管理者にお問い合わせください。

2-3. デジタルペーパーとコンピューターの接続

- 1 ソフトウェアとドライバーのインストールをする前に、デジタルペーパーとコンピューターを付属のUSBケーブルで接続してください。

2-4. ソフトウェアのダウンロード

- 1 Internet Explorer などのWeb ブラウザーを起動し、ソフトウェアをダウンロードします。
詳しくは下記URLのデジタルペーパーの製品ページをご参照ください。
<http://www.sony.jp/digital-paper/>
- 2 コンピューターの任意の場所に、ダウンロードしたファイルを保存します。

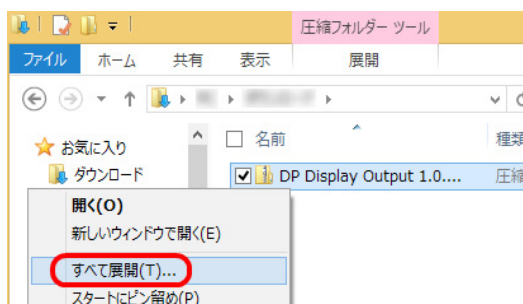
2-5. ドライバーのインストール(Windows7、8、8.1)

画面の外部出力機能を使用するために、コンピューターにドライバーをインストールします。

ご注意

- Windows®8.1の環境を使用した場合の手順を説明しています。お使いの環境によっては、実際の操作方法や画面とは異なる場合があります。
- ドライバーは「2-4. ソフトウェアのダウンロード」でダウンロードしたファイルの中に含まれています。

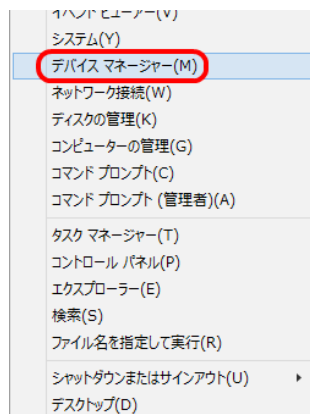
- 1 任意の場所に保存した「DP Display Output 1.0.xx.xxxxx.zip」を展開すると、「DP Display Output 1.0.xx.xxxxx」フォルダが作成されます。



ヒント

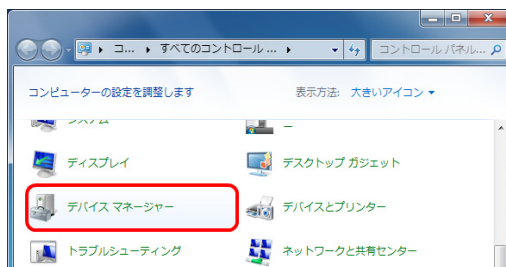
「DP Display Output 1.0.xx.xxxxx.zip」の「x」は、ソフトウェアの提供時期に合わせた数字等が入ります(例:「DP Display Output 1.0.00.12191.zip」)。

- 2 キーボード上で、「Windows」キーと「X」キーを押します。
- 3 画面左下に表示された一覧から[デバイスマネージャー]をクリックします。

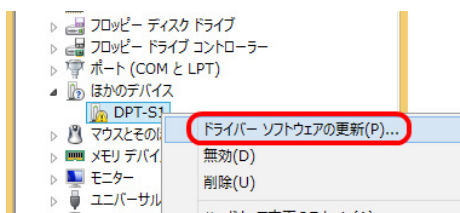


ご注意

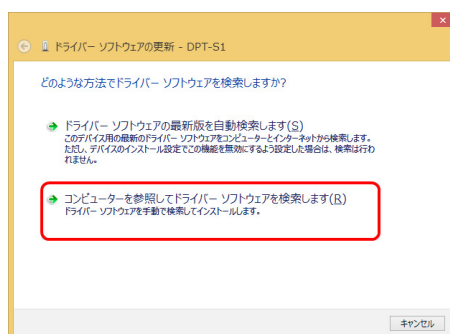
Windows7をお使いの方は[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[デバイスマネージャー]をクリックします。



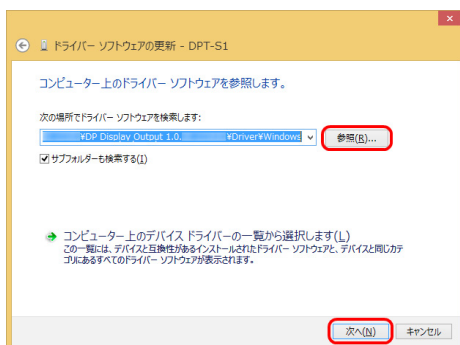
- 4 「ほかのデバイス」に「DPT-S1」が表示されるので、[DPT-S1]上で右クリックし、[ドライバーソフトウェアの更新]をクリックします。



- 5 [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]をクリックします。



- 6 [参照]ボタンをクリックし、展開したフォルダー「DP Display Output 1.0.xx.xxxxx¥Driver¥Windows」を選択し、[次へ]をクリックします。



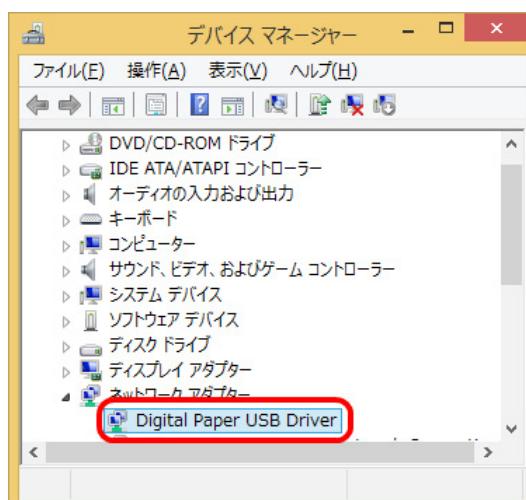
- 7 [インストール]をクリックします。



- 8 「ドライバーソフトウェアが正常に更新されました」と表示されると、ドライバーインストールの完了です。



- 9 デバイスマネージャーで、デジタルペーパーが正しく認識していることが確認できます。



ご注意

- ドライバーのインストール後は「ネットワーク アダプター」欄に表示されます。
- ドライバーをインストールしないと、コンピューターからデジタルペーパーに充電することはできません。

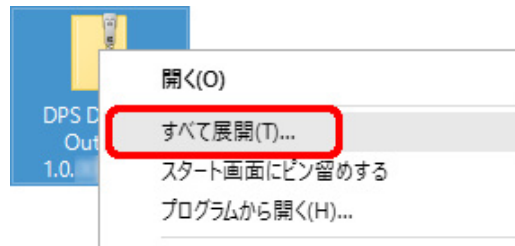
2-6. ドライバーのインストール(Windows10)

画面の外部出力機能を使用するために、コンピュータにドライバーをインストールします。

ご注意

ドライバーは「2-4. ソフトウェアのダウンロード」でダウンロードしたファイルの中に含まれています。

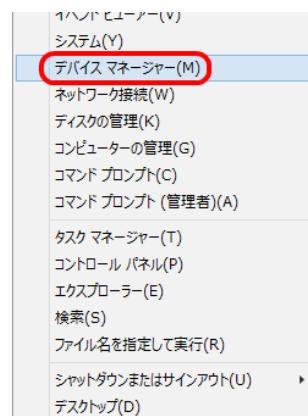
- 1 任意の場所に保存した「DP Display Output 1.0.xx.xxxxx.zip」を展開すると、「DP Display Output 1.0.xx.xxxxx」フォルダが作成されます。



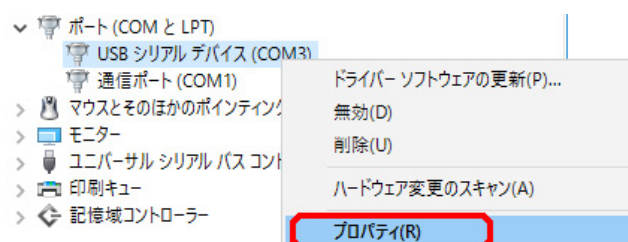
ヒント

「DP Display Output 1.0.xx.xxxxx.zip」の「x」は、ソフトウェアの提供時期に合わせた数字等が入ります(例:「DP Display Output 1.0.00.12191.zip」)。

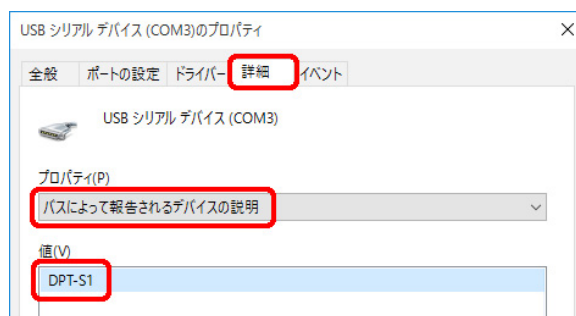
- 2 キーボード上で、「Windows」キーと「X」キーを押します。
- 3 画面左下に表示された一覧から[デバイスマネージャー]をクリックします。



- 4 「ポート(COMとLPT)」を開いて表示される[USBシリアルデバイス(COM(番号))]上で右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



[詳細]タブをクリックし、「プロパティ」のプルダウンの選択から[パスによって報告されるデバイスの説明]をクリックし、「値」が「DPT-S1」と表示されていることを確認してください。



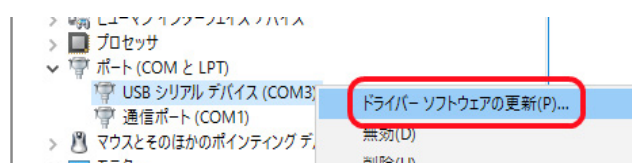
ご注意

[パスによって報告されるデバイスの説明]はリストの中ほどにあります。リストをスクロールして選択してください。

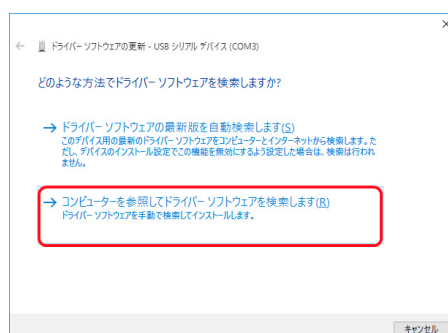
ヒント

- COM(番号)の「番号」はお使いのコンピュータの環境により変化します。
- 「ポート(COMとLPT)」に「USBシリアルデバイス(COM(番号))」が複数表示されている場合は、デジタルペーパーが使用するCOMポートを次のようにして確認します。
 - ① デバイスマネージャーの画面を表示したまま、デジタルペーパーのUSBケーブルを一度コンピュータから取り外します。
 - ② 再度USBケーブルを接続すると、新しいポートが追加されます。
 - ③ 新しく表示されたポート[USBシリアルデバイス(COM(番号))]上で右クリックし、4の手順で[プロパティ]を確認してください。

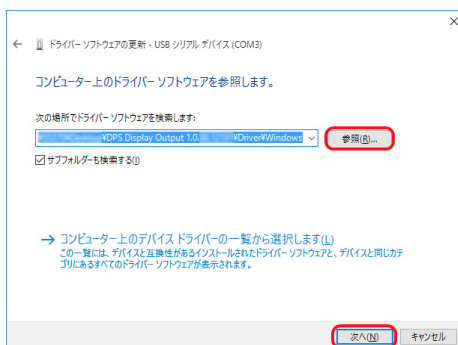
5 「値」が「DPT-S1」と確認したポート[USBシリアルデバイス(COM(番号))]上で右クリックし、[ドライバーソフトウェアの更新]をクリックします。



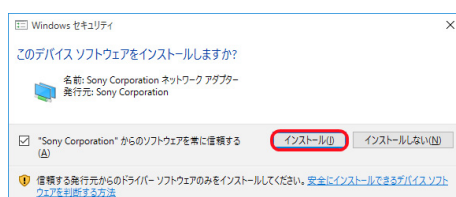
6 [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]をクリックします。



[参照] ボタンをクリックし、[フォルダーの参照] ポップアップウィンドウで、展開したフォルダー「DP Display Output 1.0.xx.xxxxx¥Driver¥Windows」を選択し、[OK]でポップアップウィンドウを閉じて、[次へ]をクリックします。



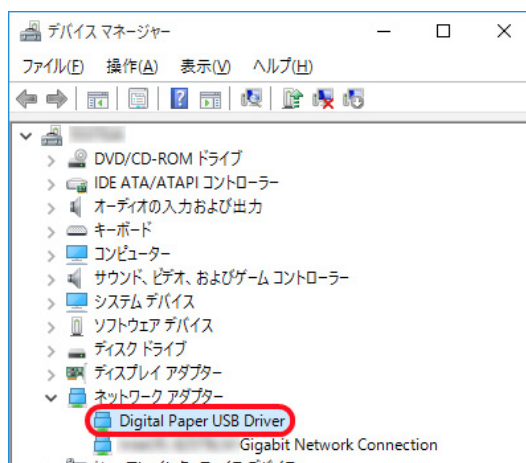
7 [インストール]をクリックします。



8 「ドライバーソフトウェアが正常に更新されました」と表示されると、ドライバーインストールの完了です。[閉じる]をクリックして終了してください。



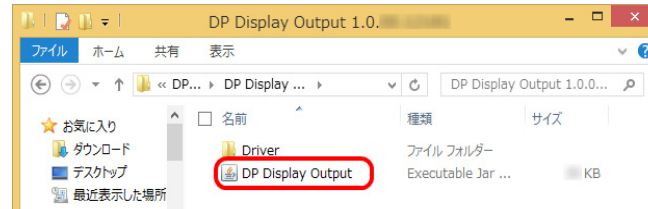
9 デバイスマネージャーの[ネットワークアダプター]の下に[Digital Paper USB Driver]が表示されると、正しく認識されています。



2-7. ソフトウェアの起動と終了

2-7-1. DP Display Outputの起動

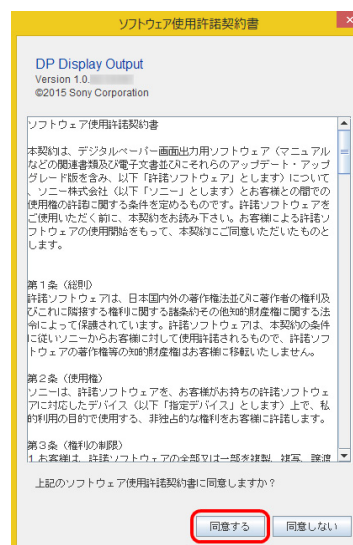
- 1 ダウンロードしたファイルを展開したフォルダにある「DP Display Output」をダブルクリックします。



ヒント

拡張子が表示されている場合は、ファイル名は「DP Display Output.jar」となります。

- 2 「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、内容を確認の上、[同意する]をクリックしてください。



3 デジタルペーパーに表示されている内容がコンピューターに表示されます。

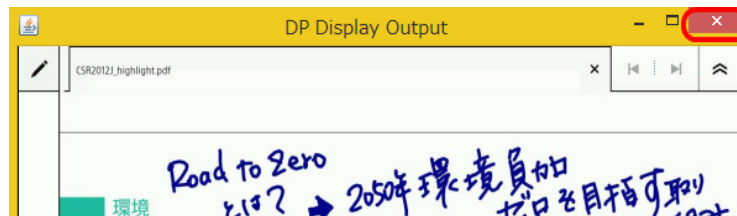


ご注意

デジタルペーパーの内容がコンピューターに表示されるまで、時間がかかる場合があります。

2-7-2. DP Display Outputの終了

画面右上の[閉じる]ボタンをクリックして、終了させます。



3. Macで画面の外部出力機能を利用する

画面の外部出力機能を利用するには、デジタルペーパー専用ソフトウェア“DP Display Output”をコンピューターに保存し、起動します。

3-1. Java実行環境の確認とインストール

“DP Display Output”を利用するには、Java実行環境(JRE)をコンピューターにインストールする必要があります。

JREのバージョン確認とインストールについては、Javaの開発元である日本オラクル株式会社のホームページ等をご参照ください。

ご注意

- 画面の外部出力機能を利用するには、JREのバージョンは、バージョン8 Update 25以降が必要です。

3-2. デジタルペーパーの設定

「2-2. デジタルペーパーの設定」を参照し、デジタルペーパーの画面の外部出力機能をオンにしてください。

3-3. デジタルペーパーとコンピューターの接続

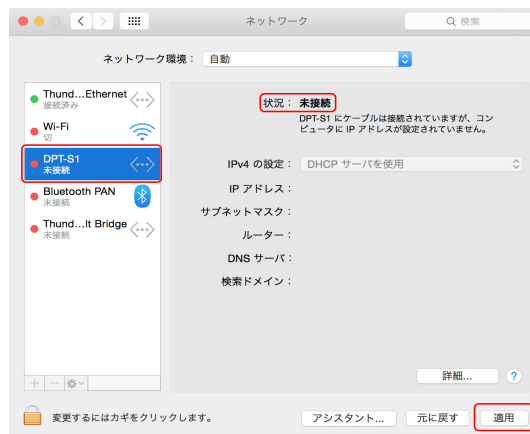
ソフトウェアのインストールをする前に、デジタルペーパーとコンピューターを付属のUSBケーブルで接続してください。接続をするとドライバーは自動認識されます。

ヒント

「新しいネットワークインターフェイスが検出されました」が表示された場合は、[“ネットワーク”環境設定]をクリックします。

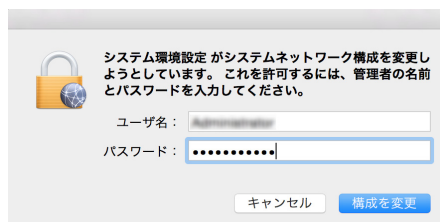


画面最下部の[適用]をクリックします。

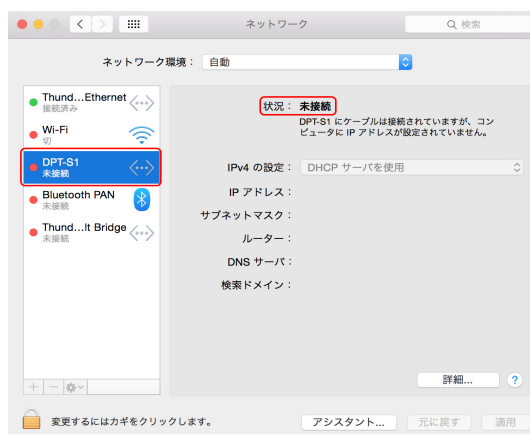


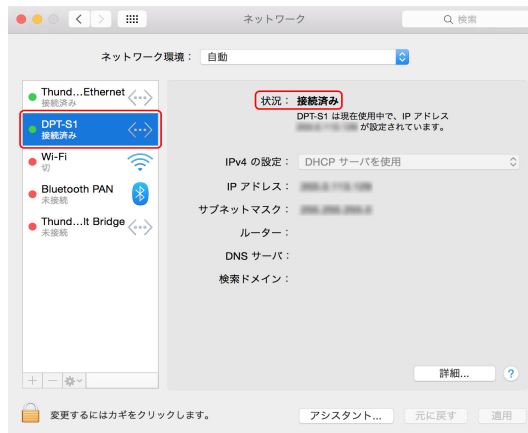
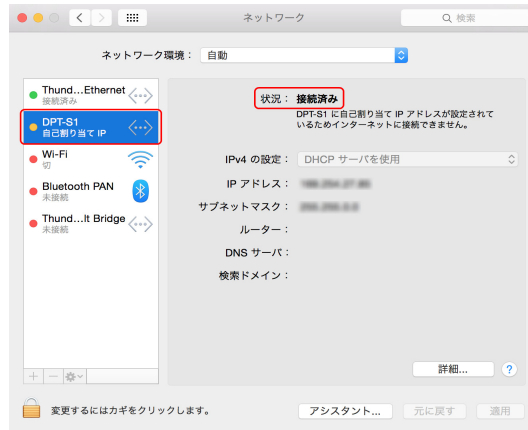
ご注意

「システム環境設定が～」が表示された場合は、「管理者の名前」と「パスワード」が必要になります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。



デジタルペーパー(DPT-S1)のネットワーク状況が「未接続」から「自己割り当てIP」となり、最終的に「接続済み」が設定されます。





ご注意

- 「未接続」から「自己割り当てIP」、「接続済み」まで自動的に設定されます。
- 「接続済み」に設定されるまで時間がかかる場合があります。

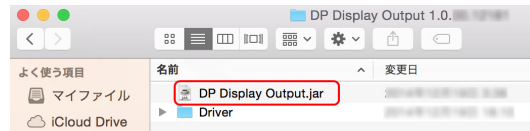
3-4. ソフトウェアのダウンロード

- 1 Safari等のWebブラウザを起動し、ソフトウェアをダウンロードします。詳しくは下記URLのデジタルペーパーの製品ページをご参照ください。
<http://www.sony.jp/digital-paper/>
- 2 コンピューターの任意の場所にダウンロードしたファイルを保存し、ファイルをダブルクリックして、解凍してください。

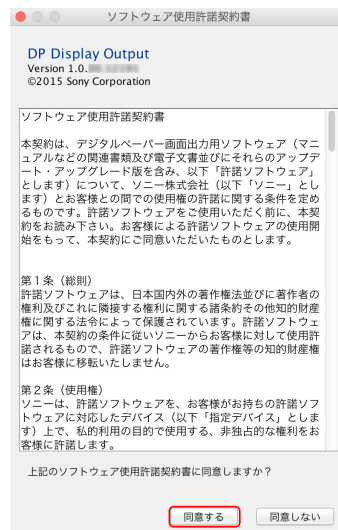
3-5. ソフトウェアの起動と終了

3-5-1. DP Display Outputの起動

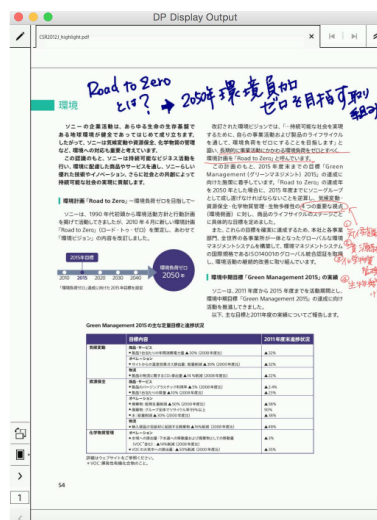
- 1 ダウンロードしたファイルを解凍したフォルダーにある「DP Display Output.jar」をダブルクリックします。



- 2 「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、内容を確認の上、[同意する]をクリックしてください。



- 3 デジタルペーパーに表示されている内容がコンピューターに表示されます。

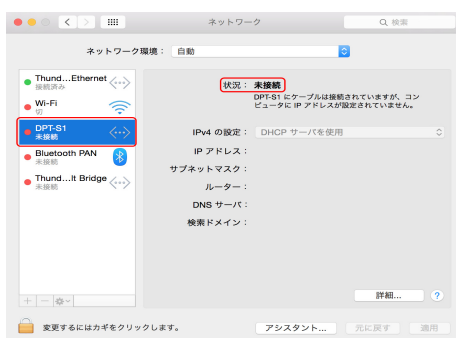


で注意

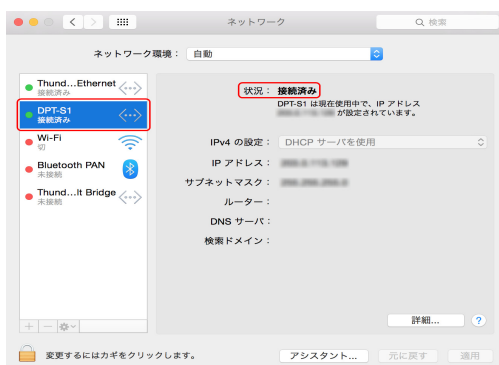
- デジタルペーパーの内容がコンピュータに表示されるまで、時間がかかる場合があります。
- しばらく時間が経過しても、デジタルペーパーの内容がコンピュータに表示されない場合は[システム環境設定]から[ネットワーク]をクリックします。



デジタルペーパー(DPT-S1)の状況が「未接続」になっている場合、コンピュータからUSBケーブルを外して、デジタルペーパーの設定をご確認ください。詳しくは、「2-2. デジタルペーパーの設定」をご参照ください。



再度デジタルペーパーと接続しているUSBケーブルをコンピュータに接続し、デジタルペーパー(DPT-S1)の状況が「接続済み」に設定されている状態で、“DP Display Output”を起動してください。



3-5-2. DP Display Outputの終了

画面左上の[閉じる]ボタンをクリックして、終了します。

